

センター業務概要

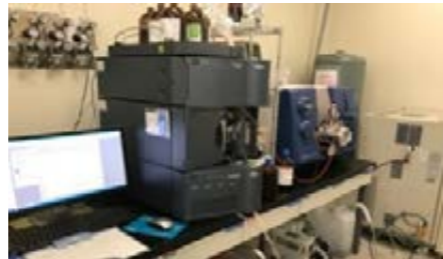
モニタリング

琵琶湖の水や生物、大気、化学物質など、法律等に定められた項目を監視するため、調査船や測定車を用いて、試料を採取しています。



分析評価

センターが採取した試料や環境事務所等から持ち込まれた試料を専用の機器により、分析を行っています。



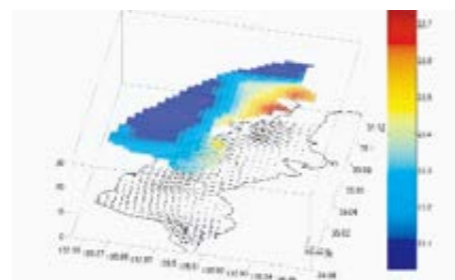
フィールドワーク

地域に出向き、地域の皆さんとともに、琵琶湖や滋賀県の環境に関わる課題を共有したり、調査を行っています。



総合解析（機構解明、モデル等）

科学的研究成果やモデル等を活用して、機構解明やモニタリング成果、既存の知見等の総合的な解析を行っています。



試験研究の推進および成果等の普及

外部連携

広く大学や企業等との共同研究、外部研究者の受入れなどを実施し、多様な連携や国立環境研究所琵琶湖分室との連携研究を推進しています。



国立環境研究所琵琶湖分室の設置に係る協定

人材の育成

センター内の知見、技術を共有し、技術継承を図っています。また、国内外の学会・学術雑誌での発表、研究者間の交流等を通じて、人材の育成を図っています。



採水の指導

国際貢献

海外からの水環境等に関する研修生の受入れや研究成果の提供、技術協力等を行っています。また、国際的な場で成果を発表し、世界の湖沼環境保全に貢献しています。

成果等の普及

成果報告会「びわ湖セミナー」の開催、講習会への研究員の派遣、成果を分かりやすく紹介するセンターニュース等の刊行を通じて、広く成果の普及を図っています。

施設の概要

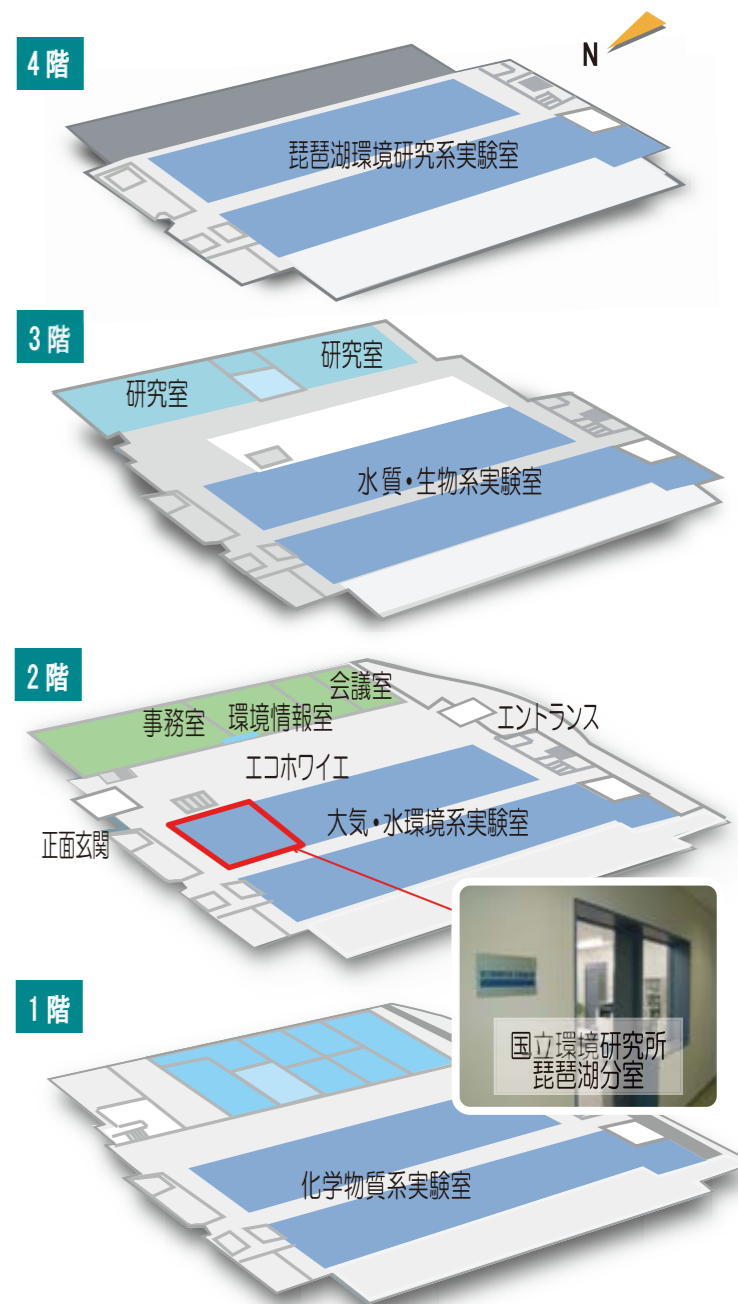


- 敷地面積 6,066.48 m²
 - 建築面積 2,932.29 m²
 - 延床面積 8,086.22 m²
 - 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
- 地上4階、地下1階



環境情報室

琵琶湖環境に関する学術情報をはじめ、図書や行政資料などを収集し、環境情報室で公開しています。
【月～水（祝日等を除く）10時～16時】



主な研究設備

水質実験調査船「びわかぜ」

全長：28m
総トン数：71t
定員：25人
就航年：2015年



有索式水中ロボット（ROV）



主なデータベース・調査結果

- 水質 環境調査情報データベース（琵琶湖の水質）
- プランクトン プランクトン調査結果検索（琵琶湖のプランクトン）
瀬田川プランクトン調査結果
- 大気 大気汚染常時観測測定
- 生態系 生物多様性画像データベース